

エフビー介護サービス

# 福祉用具メンテJIS取得

## 品質改善、クレーム減に



(左から) 中嶋氏、柳澤社長

施。

認定を受けた事業所は、第三者認証機関から「登録事業所」として公表され、安全面での差別化をアピールできる。

要書類や業務フローの策定などを求めている。

認定登録は、規格の原案作成を担った日本福祉

用具評価センター(JA

SPEC)が「あんせん

が、安心・安全な商品提

整備認定制度」として実

供のために全員共通の指

リニューアルの変更を担った責任者の中嶋氏のみが経緯や問題の要因を把握できている。

認定後は、品質管理システムに情報の内容やそれに伴う変更点などを記録・共有。社員一人ひとりが再発防止の意識を持ってメンテナンスに取り組めるようになったという。

針を求めていた」と認定を受けたきっかけを説明する。  
例えば出荷後の福祉用具に軽微な不具合が見つかり苦情があった場合、これまででは作業内容やマ

柳澤社長は「利用者からのクレームは減少したと明らか」と同時に職員にとっても安心して働ける職場づくりにつながったと評価する。

M&Aで関東圏進出拡大に意欲

同社は通所介護や訪問介護などの在宅や居住系サービスも展開。

柳澤社長は「福祉用具貸与を入口に、訪問介護や住まいなど地域に根差した介

護事業まで、利用者の状態にあわせてトータルで利用できる形を目指してきた」と話す。

22年4月には東京証券取引所スタンダード市場へ株式上場。同年11月にはシルバーアシスト(東京都多摩市)を子会社化するなど事業を拡大し、

24年3月期の売上高は103億円にのぼった。引澤社長。



センターでは徹底した洗浄・消毒が行われている